

ちばの博物館

<https://www.chibahaku.skr.jp/hp/>

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

万祝と海の工芸美術 —白浜海洋美術館—

当館は、房総の旅で万祝に魅せられた柳 八十一と和子が1965年に設立した個人美術館です。建物は芝浦工大建築学科の石川 洋美氏による網葺風建築で、代表作の一つです。立地は南房総国定公園野島崎灯台の直ぐ側で、千葉県最南端に位置しています。

60年以上前に柳夫婦が漁師さんの家を訪ね歩いて集めた物を中心に展示していますが、蒐集家さん達に協力して頂き収集した資料の中には、万祝を初め、捕鯨絵巻、貝合わせ、北前船の船額、ペリー一行似顔絵等かなり貴重なものがあります。当時の収集苦労話は色々聞いていますが、白浜町長はじめ篤志家の協力もあったようです。万祝は250着以上収集していて、千葉県立中央博物館の令和6年度特別展「万祝博覧会—海をまとう—」（会期：7月27日～9月29日）にも貸出したほか、イベント協力しております。

嬉しいことに2023年、集英社発刊『日本美術・この一点への旅』山下 裕二著に千葉県から当館を選んで頂き、非常に光栄に感じております。

美術館サポートメンバーも常時募集中で、金銭援助、企画展示、環境整備、翻訳、展示補助、イベント手伝い等色々支援を受けております。そして地元の子供達、小中学校生には団体鑑賞時は無料開放しています。また貸しギャラリーも併設しています。是非ご利用下さい。

私、富山(柳)善夫は、三重県伊賀では1979年から陶芸家として歩んでおりましたが、2006年に美術館の跡取りとなりました。個人経営の小さな美術館ですので、草刈りから、外観のペンキ塗り、照明器具をクラウドファンディングでLEDに替えたり、床をタイルカーペットにしたりと、今の所は出来ることは何でも費用を掛けずに自らやっております。また2016年に窯を開き、陶芸家として白浜で再開し、作品は美術館のギャラリーショップで販売しております。また、陶芸体験もやっています。

当館は小さいですので、来館者には可能な限り説明などをしてお楽しみ頂けるようにと心がけております。流行りの顧客満足度は結構高いと自負しております。さらに他所の美術館に負けじと猫も5匹飼育しておりますが、大概寝ていますのでお目にかかることは無いと存じます。カフェも併設してまして、注文時は我々が店長に早変わりします。

- ◆開館時間 10時から17時まで
- ◆休館日 火水木曜日と悪天候時
- ◆入館料 大人500円／学生400円／中学生以下200円
- ◆ホームページ <http://kaibi.art.cocan.jp> と <http://www.igayaki.com>



▲美術館外観



▲万祝と舟徳利

も
く
じ

- 万祝と海の工芸美術-白浜海洋美術館… 1
- 県内トピックス…………… 2
 - ・千葉県立美術館
 - ・千葉県立現代産業科学館
- 新規加盟館園紹介…………… 3
- 探訪 ちばの博物館
 - 第4回 成田羊羹資料館…………… 4～5
- 秋から冬の催し(10月～3月)…………… 6
- 展覧会案内…………… 7
- 日誌抄・編集後記…………… 8

No. 151
2024.9.30

県内トピックス

千葉県立美術館 開館50周年を迎えて

国内最大区域を誇る港地域の埋立地に立つ美術館として、1974（昭和49）年10月23日に千葉県立美術館は開館した。経済成長下での文化的活動への希求や、千葉県を拠点に活動を続けていた美術家の求めなどが連動した美術館建設への動きの成果として、戦後日本を代表する建築家の一人、大高正人の設計により誕生した。

一万坪の敷地に、平屋建ての8つの展示室からなる「展示棟」、200人収容の講堂、アトリエなどを備えた「県民アトリエ棟」、運營業務等を行う「管理棟」で構成されるこの建物は、勤続30年を超えた今も、それまで気づかずにいた、大高の思考としての空間美との新鮮な出会いをもたらしてくれる。

開館の頃は美術館から海岸を見渡せ、職員は展示室の一部で業務していた、バスの停留場ができたときは千葉駅から乗って出勤し喜び合ったと、当時を知る職員の回想を聞いたことがある。現在は周辺にポートタワーが建ち、京葉線が開通し、モノレールが利用でき、マンションや商業施設など賑わいを見せている。

美術館事業は「房総と近代美術」を活動の根幹として、浅井忠をはじめとする県ゆかりの美術家の作品収集と展示、美術に関する講演や講座、図書やポスター掲示による情報提供、陶芸の創作体験など、美術を起点に様々な機会提供を続けてきた。およそ半分の展示室を美術団体への貸し出しも特徴の一つといえる。

2011（平成23）年に来館者が600万人を超え、2023（令和5）年の博物館法改正、美術館・博物館の役割の多様化という動きの中で、2024（令和6）年「千葉県立美術館活性化基本構想」が策定された。「アートを問う」を基本理念に、人々が行き交い対話する場となり、千葉から未来へ新たな文化をつむぐ場を目指しての、次の50年のスタートである。

中松れい（千葉県立美術館）



千葉県立美術館外観

千葉県立現代産業科学館 開館30周年記念イベント —みなさまと共に歩む科学館—

千葉県立現代産業科学館は、子どもから大人までだれもが産業に応用された科学技術を楽しく学べる施設として、平成6年6月15日に開館し、今年、開館から30周年を迎えました。これを記念して、「現代産業科学館開館30周年記念イベント—みなさまと共に歩む科学館—」（会期：6月14日～30日）と称し、当館のこれまでの歩みを収蔵資料などにより振り返る展示を行うとともに、記念のイベントやセレモニーを開催しました。



記念セレモニー集合写真

■記念展示

開館30周年記念展示では、開館から現在までを年ごとに振り返るパネルや、収蔵資料、歴代企画展のポスターなどを通じて当館の歩みを紹介しました。当館の歩みが一目でわかり、その時々を懐かしむ声も来館者の皆様から聞くことができました。他にも、企画展「見る」プレ展示や産業関連資料展示「精密密断を極める～鋼材を操る技～」など、様々な記念展示をご覧いただきました。

■記念イベント

6月22日（土）、23日（日）には、開館30周年記念イベントを開催しました。T型フォード記念撮影会、工作体験、館内クイズラリーなど、子どもも大人も楽しめる様々な体験型のイベントを行いました。また、近隣施設と連携したスタンプラリーを実施し、参加者にはノベルティグッズのプレゼントがあり、イベントを盛り上げました。

6月23日（日）には、千葉県知事、来賓、博物館関係者、報道機関、一般来館者の皆様にご参加いただき、記念セレモニーを執り行いました。くす玉開きの際には、会場内に盛大な拍手と歓声が上がリ、セレモニーを締めくくりました。

相木康岳（千葉県立現代産業科学館）

新規加盟館園紹介

市原湖畔美術館 -アートを通じて地域とつながる-

1995年に開館した観光・文化施設「市原市水と彫刻の丘」のリニューアルにより、市原市の市制施行50周年を記念して2013年に誕生しました。首都圏から車で約1時間というアクセス、高滝湖畔という絶好のロケーションを生かし、アートだけでなくさまざまなアクティビティを屋内外で楽しめる「首都圏のオアシス」を目指しています。「里山の地に足でしっかり立ち、眼は広く世界を眺める」をこころざし、①現代アートを中心とした企画展、②地域・子どもに開かれたワークショップ、③外に向かって展開するコミュニティ活動を通して、市原市が掲げる「アートによる地域づくり」の中核を担うユニークな美術館として活動しています。(指定管理者：株式会社アートフロントギャラリー)



市原湖畔美術館外観 (撮影：遠藤匡)

年に4回開催している企画展は、国際性と地域性を意識したテーマでグループ展や個展を実施しています。その内ひとつは、アート界の第一線で活躍するアーティストがキュレーションする子ども絵画展で、市内の小学校・幼稚園から毎年多くの作品が公募で集まります。



「第12回市原湖畔美術館子ども絵画展」の様子 (撮影：田村融一郎)

館内外には、通年で楽しめる彫刻作品が点在しており、常設展示室では市が収蔵する約700点の作品の中でも、特に日本を代表する銅版画家の深沢幸雄氏の作品を入れ替えて展示しています。



常設展示室における深沢氏の作品展示

その他、地域と連動したワークショップやイベント、月に1度、美術館広場では地元住民主導のピクニックができるマルシェを開催するなど、地域の活性化にも貢献しています。

基本情報

住所：千葉県市原市不入 75-1

電話：0436-98-1525

URL：<https://ism-ichihara.jp/about/>

探訪

ちばの博物館

— 第4回 成田羊羹資料館 —

市原歴史博物館 学芸員 芝崎 浩平 (民俗学)
千葉県立中央博物館 研究員 樽 宗一郎 (昆虫学)

このコーナーでは、千葉県博物館協会広報委員が県博協加盟館園を訪問して、展示や活動などの注目を紹介します。今回は、羊羹をこよなく愛する委員2名が成田羊羹資料館を訪問しました。

訪問日：令和6年9月1日(日)

成田羊羹資料館は平成14(2002)年に開館した。明治32(1899)年に創業した米屋の歴史と羊羹のルーツやその変遷を創業者の思い出などを交えて紹介している博物館である。成田山新勝寺の参道の途中にあり、成田山新勝寺とともに歩んできた歴史も紹介している。

同館は、「なごみの米屋 總本店」の中を通過した奥にあり、成田山参拝時に気軽に立ち寄れる場所に立地している(写真1)。

展示室は、1Fが主に企画展示、一部常設展示、2Fが常設展示となっている。企画展示は年2回開催しており、和菓子や成田市に関わることを企画している。12月1日まで第41回企画展「成田市制施行70周年記念「広報なりた」で見る成田市の70年」を開催している。

常設展示では、創業者の紹介や羊羹の歴史、実際に羊羹づくりに使われていた昔の道具などを紹介している。創業時から昭和30年代までの「羊羹ペーパー」が並んだケースは圧巻であり、米屋だけでなく過去成田山にあった羊羹屋を含めた羊羹ペーパーが展示されている(写真2)。展示室内にはとほころとほころと解説シートが設置されている。ここからは訪問した委員が特に推したい展示を紹介する。

■ここを見れば羊羹の歴史がわかる！(樽)

「羊羹の歴史」コーナーでは、どのようにして今日の羊羹が生まれたのか、紀元前から現在に至るまでの歴史を紹介している。羊羹を好きで普段から食べてい



写真1 外観



写真2 羊羹ペーパーが並んだケース

印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・
ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク

〒273-0015船橋市日の出2-2-13第2ナカイビル102
営業時間/9:00~18:00 定休日/日曜・祝日

TEL.047(437)6208

関東港業株式会社
KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた
保存環境の調査~提案~施工まで
文化財保存対策なら当社にお任せ下さい専用くん蒸庫完備
(各種業種対応)
28ml/9ml対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002

千葉市美浜区新港58-2

TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080

http://www.kan-ko.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板
道路標識・街路表示板・観光絵看板
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地

TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224

E-mail: art-studio.okubo @ apost.plala.or.jp

る人でも、そのルーツや歴史について深く考えたことはあまりないのではないだろうか。例えば、遣唐使によって中国から日本に伝来した際は「羹（あつもの）」といい、現在のような甘いものではなかった。『羊羹』という言葉は、羊の羹（あつもの）、つまりは羊の肉や肝を煮たスープのことであり、もともとは中国大陸の料理の名前に由来するらしい。

また、「日本の羊羹」コーナーでは、日本各地の羊羹が紹介されており、各店の羊羹ペーパーが所狭しと並ぶ。この2つのコーナーを見ることで羊羹が今まで歩んできた歴史と現在の愛され方を知ることができる。

■使い込まれた道具の迫力（芝崎）

私がかつて、東京や千葉の職人への聞き取り調査を行った時、正月には成田山新勝寺へ初詣に出かけ、帰りに羊羹を買ってくるのが定番だと数人から聞いていた。その際は「なぜ羊羹？」と思っていたが、今回の訪問は、その長年の謎に回答を用意してくれていた。

私の専門分野は、民俗の中でも民具や職人技術を専門としているため、眼を惹いた展示は、「明治・大正時代の羊羹製造道具」コーナーである（写真3）。機械化が進む現在の羊羹製造に対して、手作業の時代の道具を丁寧に分類し、良好な状態で展示していることに驚いた。欲を言えば、各道具がどういう工程に、どのように使われるのかを知りたいと思うほどに存在感がある。和菓子や羊羹製造用具がまとまって資料化されている施設は少ないため、貴重な資料群といえよう。向かい側の小型の荷車に置いた小豆や砂糖、寒天などの原材料の展示も見逃せない。



写真3 明治・大正時代の羊羹製造道具

子どものころから小豆の羊羹と牛乳羊羹づくりを、お盆や年末に手伝わされていた私にとって、懐かしく

親近感の湧く展示であったが、煮た小豆を絞る作業が力仕事で大変であった思い出がよみがえってきた。

以上に挙げた展示以外にも魅力的な展示が多く、1Fには現在の羊羹の作り方を紹介した映像コーナーがあり、別置の昭和初期の羊羹の作り方パネルや2Fの昔使用していた道具と比較することができる。訪問後は羊羹を買って帰路に就いた。普段も食べているはずの羊羹がより美味しく感じた。

成田羊羹資料館

- ◆所在地／千葉県成田市上町500
- ◆開館時間／10時から16時
- ◆休館日／なし（展示替えの際のみ休館）
- ◆入館料／無料
- ◆問い合わせ先／0476-22-2266

令和6・7年度 役員・委員紹介

令和6・7年度 千葉県博物館協会役員

会長 西原 崇浩（袖ヶ浦市郷土博物館）
副会長 神野 信（千葉市立加曽利貝塚博物館）
副会長 渡辺 尚志（松戸市立博物館）

理事＜広報委員会＞

小笠原勝海（市立市川考古博物館）
金子 俊（船橋市郷土資料館）

理事＜調査研究委員会＞

三石 宏（鎌ヶ谷市郷土資料館）
糸原 清（千葉県立関宿城博物館）

理事＜研修委員会＞

郡司 文夫（航空科学博物館）
平野 昌彦（佐倉市立美術館）

理事＜地域振興委員会＞

北澤 滋（流山市立博物館）
内堀 哲也（館山市立博物館）

監事 貝塚 健（千葉県立美術館）

中村 元重（八千代市立郷土博物館）

*秋から冬の催し (10月~3月) *

詳細は直接館にお問い合わせください。

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●いすみ市郷土資料館	TEL 0470-86-3708 展覧会 企画展「大多喜高校・長生高校美術部合同展 -いつもの放課後、美術室で-」 9月14日~12月22日 展覧会 企画展「日本博覧図展」(仮称) 1月11日~4月13日	
●市原湖畔美術館	TEL 0436-98-1525 展覧会 「かみがつくる宇宙-ミクロとマクロの往還」 10月19日~1月13日 展覧会 「第12回 市原湖畔美術館子ども絵画展」 ゲストアーティスト: 荒井良二 2月1日~3月2日	
●市原歴史博物館	TEL 0436-41-9344 展覧会 「旅するはにわ-房総の埴輪にみる地域間交流-」 10月12日~12月15日 展覧会 「房総の埴輪と地域性」 11月24日	
●伊能忠敬記念館	TEL 0478-54-1118 展覧会 企画展「伊能図の再生 ~国宝保存修理事業のあゆみ~」 11月12日~1月5日	
●浦安市郷土博物館	TEL 047-305-4300 展覧会 企画展「ふるさと浦安作品展」 9月28日~10月20日 講演会 「浦安の住宅」(仮称) 10月27日 展覧会 企画展「浦安の海苔養殖」 1月4日~3月2日	
●大原幽学記念館	TEL 0479-68-4933 展覧会 企画展「幽学と子育て」 10月19日~2月16日	
●鎌ヶ谷市郷土資料館	TEL 047-445-1030 展覧会 令和6年度新資料展「新発見!かまがやのたからもの」 10月26日~1月26日 展覧会 第29回ミニ展示「写真で見る鎌ヶ谷の民俗」(仮称) 3月16日~5月末まで(予定)	
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803 講演会・講座等 ウィンタースクール 12月25日~29日 その他イベント等 鴨川市民DAY 2月11日(予定)	
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478 展覧会 没後450年記念「関東無双ノ大将 里見義堯 -久留里城を拠点とした戦国の雄-」 10月26日~12月8日 展覧会 「芋窪原遺跡」(仮称) 1月15日~3月2日 講演会 「君津の社寺建築探訪」(仮称) 2月15日	
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 展覧会 企画展示「歴史の未来-過去を伝えるひとのデータ」 10月8日~12月8日 展覧会 第3展示室 特集展示「歴史・文化の中の郷成功」 11月26日~1月26日 展覧会 第3展示室 特集展示「和宮ゆかりの難かざり」 2月18日~3月30日	
●佐倉市立美術館	TEL 043-485-7851 展覧会 収蔵作品展2 11月2日~12月22日 展覧会 「第41回 新春佐倉美術館展」 1月5日~1月19日 展覧会 開館30周年記念 生誕150年/没後70年「香取秀真の眼」 1月31日~3月23日	
●山武市歴史民俗資料館	TEL 0475-82-2842 展覧会 令和6年度企画展「埴輪展」開催中~令和7年5月11日 講演会 もっと知りたい!さんむの魅力講座「九十九里浜のイワシ漁」 会場: 成東文化会館 11月16日 講演会 もっと知りたい!さんむの魅力講座「魅惑の近代文書の世界」 会場: 成東文化会館 12月21日	
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562 展覧会 「しかけ絵本ワンダーランド-飛び出す・変わる・ときめく」 9月24日~10月26日 展覧会 「第2回 風のアール・ブリュット展 ココロ・ボリズムJ1U」 11月5日~10日 展覧会 「川久保悦子の庭 花と猫と」 11月26日~12月21日	
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202 展覧会 小企画展「鬼高遺跡の宝もの」千葉県指定有形文化財登録記念 8月11日~7月28日 講演会・講座等 市川歴史セミナー公開講演会「藤原道長と紫式部の時代」 10月5日 その他イベント等 縄文体験フェスティバル 3月23日	
●市立市川歴史博物館	TEL 047-373-6351 展覧会 学校連携学習資料展 発見・体験 昔のくらし 9月7日~1月26日	
●白井そろばん博物館	TEL 047-492-8890 展覧会 第20回企画展「塵劫記とその背景」 10~11月 その他イベント等 そろばんはじき初め 1月12日 展覧会 「白井のひな祭り」 2月8日~3月9日	
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811 展覧会 企画展II「袖ヶ浦古墳大辞典-袖ヶ浦の古墳時代-」 10月5日~12月8日 講演会 企画展関連講演会「本当はすごい袖ヶ浦の古墳時代」 10月13日	
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212 展覧会 企画展「資生堂創業者福原有信と館山」 2月1日~3月16日 その他イベント等 歴史探訪「わたしの町の歴史探訪-高井・上野原-」 11月10日	
●千葉経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9843 展覧会 特別展「房総のお医者さん」 11月16日~1月31日	
●千葉県酪農のさと	TEL 0470-46-8181 展覧会 令和6年度第2回嶺岡牧場企画展「178基の馬頭観音を巡って -嶺岡馬頭観音巡り 第1期-」 10月1日~3月30日 講演会 令和6年度第2回嶺岡牧場講演会「嶺岡牧場の授業を行う教員の養成方法 -世界遺産を超える嶺岡牧場を伝える人材の育成-」(仮称) 2月24日	
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2000 展覧会 令和6年度企画展「見る」-生き物の目・機械の目-」 10月12日~12月1日	
●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400 展覧会 企画展「赤松宗旦と利根川図志」 9月28日~11月24日 展覧会 「第24回関宿城全景写真展」 11月29日~1月13日 展覧会 「昔のくらし展」 1月15日~4月13日	
●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111 展覧会 「二口善雄植物画展」 10月12日~11月24日 展覧会 「地中からのメッセージ-旧石器・縄文・弥生- ~公益財団法人千葉県教育 振興財団設立50周年記念展 part 1-」 12月21日~2月9日 展覧会 「房総のミニチュア『生態園』-日本初エコロジーパークの35年-」 2月22日~5月6日	

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●千葉県立美術館	TEL 043-242-8311 展覧会 開館50周年記念特別展「浅井忠、あちこちに行く -むすばれる人、つながる時代」 10月30日~1月19日 展覧会 開館50周年記念コレクション展2「千葉県立美術館 100選」 1月28日~3月30日	
●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333 / 0476-95-9131 展覧会 「地中からのメッセージ-旧石器・縄文・弥生- ~千葉県教育 振興財団設立50周年記念展 part 1-」 9月21日~11月11日 展覧会 令和6年度企画展「地域に生きる醬油づくり」 12月7日~2月2日 展覧会 令和6年度トビックス展「房総の牧」 2月22日~4月20日	
●千葉市科学館	TEL 043-308-0511 その他イベント等 「千葉市科学フェスタ2024 これからの私たち」 10月12日・13日 展覧会 秋の企画展「さよならケイロイノプラネタリウム!ニューアル展」(仮称) 10月26日~11月17日 その他イベント等 「第26回火星ローバーコンテストin千葉」 11月30日	
●千葉市美術館	TEL 043-221-2311 展覧会 「Nerhol 水平線を巻る」 9月6日~11月4日 展覧会 「ザ・キャピカンパニー-大絵本美術館(童童賞歌)」 11月16日~1月13日 展覧会 「ブラチスラバからやってきた世界の絵本ロード」 3月22日~5月18日	
●千葉市立加曾利貝塚博物館	TEL 043-231-0129 展覧会 「加曾利貝塚E地点・B地点発掘100周年記念「あれもE これもE」 加曾利E式土器(総括編)」 10月8日~3月2日 その他イベント等 「加曾利貝塚縄文秋まつり」 11月2日・3日 展覧会 「加曾利貝塚E地点・B地点発掘100周年記念シンポジウム」 11月23日・24日	
●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231 講演会・講座等 「千葉氏公開市民講座(千葉大学共催)」 12月14日 ※リニューアルに伴い、令和6年9月30日から令和7年10月末まで休館予定	
●月の砂漠記念館	TEL 0470-68-6389 展覧会 「小川いずみ写真展 -The beautiful secean of ONJUKU 美しき御宿町-」 11月21日~2月4日 展覧会 小企画「スペイン・メキシコとの交流と絵画」開催中~3月25日 展覧会 「第19回おんじゅくまちかどつるし難めぐり展」 2月中旬~3月3日	
●DIC川村記念美術館	TEL 043-498-2672 展覧会 「西川勝人 静寂の響き」 9月14日~1月	
●流山市立博物館	TEL 04-7159-3434 展覧会 企画展「赤城山に受け継がれた流山の記憶-赤城神社と人々-」開催中~10月27日 小展示「昔の道具-100年前にタイムトリップ-」 12月7日~3月16日	
●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774 展覧会 「千葉県書道協会役員展」 10月19日~12月15日 その他イベント等 企画展示「クラフト展14-手仕事いらいろ-」 「世界と日本の 大昆虫展&里山の生きもの展」 11月16日・17日 新春特別展「成田山の美術」 1月1日~2月16日 展覧会 収蔵優品展「篆・隸・楷・行・草・仮名 -書体をめぐる書の表現-」 2月2日~4月20日	
●鋸山美術館	TEL 0439-69-8111 講演会・講座等 第15回金谷石のまちシンポジウム(日本遺産候補地域:鋸山、 房州石についての講演及び討論会) 11月23日	
●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851 展覧会 「茂木佐平治郎の百年-醤油醸造家の邸宅から市会館へ」 10月5日~12月16日 講演会・講座等 特別展開連講演「茂木佐平治郎の魅力と価値-歴史から未来へ-」 11月23日 その他イベント等 特別展開連事業「茂木佐平治郎 季節の建具・家具公開」 10月31日、11月08日、12月8日	
●菱川師宣記念館	TEL 0470-55-4061 展覧会 「濱田清展」 10月1日~12月1日	
●廣池千九郎記念館	TEL 04-7173-3023 展覧会 「西田幾多郎の書の世界」開催中~5月末	
●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661 展覧会 「オーデンセ市姉妹都市提携35周年記念 アンデル センと子ども美術館展2024」 10月12日~10月22日 展覧会 「アンデルセンととりがみの世界展2024」 10月18日~10月27日 展覧会 「洗濯バサミを使って日常から非日常へ」 1月18日~3月16日	
●船橋市郷土資料館	TEL 047-465-9680 展覧会 企画展「新京成電鉄の風景」 12月1日~28日 展覧会 企画展「船橋を『はかる』」(仮称) 1月18日~3月23日	
●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181 展覧会 企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」 9月14日~11月4日 展覧会 博学連携展示「松戸探検 100年前からのくらしのうつ りかわり」 1月15日~1月15日 展覧会 作品展「第9回 博物館アワード作品展」 11月23日~12月8日	
●松山庭園美術館	TEL 0479-79-0091 展覧会 「コノキ・ミクオの新作アート展」 10月4日~11月4日 展覧会 「第9回 現代アート実験展」 11月8日~12月1日 展覧会 「館所蔵「源氏香の図稿絵巻」にみる源氏物語」 12月6日~2月2日	
●睦沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290 特別展「夢楽工房の32年-ひたむきに拓いた陶芸の道-」開催中~12月15日 展覧会 特集陈列「下川吉博速写の世界」 10月19日~12月15日 展覧会 第21回館蔵名品展 3月15日~6月15日	
●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131 展覧会(美術収蔵品展) 「新収蔵大作『人生楽事』と郷土ゆかりの日本画展」開催中~10月27日 展覧会(市史編さん事業展示 第1回テーマ展) 「茂原市内の古墳時代-福岡県身延遺跡・中塚遺跡・山崎遺跡等-」 9月14日~12月15日 展覧会(美術収蔵品展) 「林功 日本画展」 2月16日~4月7日	
●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011 展覧会 秋の収蔵品展「祝う心 祈る心」 10月19日~11月17日 展覧会 「くらしのうつりかわり展」(仮称) 12月14日~2月24日	
●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494 和洋女子大学文化資料館 令和6年度企画展「シロギの美」 10月中旬~11月中旬 令和6年度パベル展「市川国府台赤レンガパベル展 -陸軍跡地に残る明治時代の赤レンガ建築の調査から-」 (赤レンガをいかにするか-千葉県商科大学榎戸ゼミ和洋女子大学学指ゼミ) 共催:和洋女子大学文化資料館 10月21日~11月14日	

* 展覧会案内 *

市原歴史博物館

特別展 旅するはにわ

—房総の埴輪にみる地域間交流—

当館の「山倉1号墳出土埴輪」(県指定)は、東日本最大級の埴輪工房である埼玉県鴻巣市の生出塚埴輪窯で焼かれ、はるか市原の地に運ばれてきたことがわかっています。本展では、生出塚埴輪窯跡出土人物埴輪(重要文化財)をはじめとする、古墳時代後期の埴輪を多数借用展示し、「常総」「総武」2つの「内海」をキーワードに、房総半島における埴輪文化と地域間交流の実像に迫ります。



山倉1号墳出土
人物埴輪【県指定】
(本市所蔵)



生出塚埴輪窯跡出土
人物埴輪【重要文化財】
(鴻巣市所蔵)

<会 期>10月12日(土)~12月15日(日)
<休館日>月曜日(祝日の場合は翌平日)
<料 金>一般600円(団体500円) 高校生500円(団体400円)
小中学生以下無料 ※常設展示観覧料を含む

鎌ヶ谷市郷土資料館

令和6年度新資料展

新発見! 鎌ヶ谷のたからもの

—文化財に親しもう—

鎌ヶ谷市では11月1日から7日の「文化財保護強調週間」に合わせ、令和5年度中に発見、調査・整理、発掘調査した資料や、みなさまから寄贈いただいた資料を展示します。新しく仲間入りした「鎌ヶ谷のたからもの」をぜひご覧ください。

<会 期>10月26日(土)~1月26日(日)
<休館日>毎週月曜日、12月28日(土)~1月3日(金)、1月14日(火)
<料 金>無料



過年度の開催の様子

君津市立久留里城址資料館

企画展 没後450年記念

関東無双ノ大将 里見義堯

—久留里城を拠点とした戦国の雄—

里見義堯は、現在の君津市域を含む上総国、千葉県南部の安房国を基盤に里見氏の最盛期を築いた戦国武将です。

本展では、義堯没後450年を記念して義堯に関する古文書を中心に、その足跡・人物像に迫っていきます。また、里見氏の支配下にあった君津市域には、里見氏に関する寺院や史跡などが多く残されており、これらの痕跡もあわせて紹介します。



里見義堯坐像(正源寺所蔵)

<会 期>10月26日(土)~12月8日(日)
<休館日>月曜日(11月4日は開館)、11月5日(火)、11月26日(火)
<料 金>無料

佐倉市立美術館

開館30周年記念 生誕150年/没後70年

香取秀真の眼

佐倉ゆかりの鑄金家・香取秀真(1874-1954)は、作家として活動するとともに、金工史研究者としても多数の著書を著し、国宝や重要美術品の選定にもかかわっていました。秀真が参照した古典作品と、自身の作品を並べ、現在の私たちの美意識にも連なる「古典的な美」の源流を探ります。

<会 期>1月31日(金)~3月23日(日)
<休館日>月曜日(祝日の場合は翌平日)
<料 金>一般600円、大学生400円、高校生以下無料



香取秀真《瑞獣置物》大正5年 (個人蔵)

日誌抄

事務局

■令和5年度第3回役員会

令和6年4月24日（水）14時～15時

会場／千葉県立中央博物館

内容／令和6年度千葉県博物館協会総会について

■令和6年度総会

令和6年5月22日（水）14時～16時

会場／千葉県立中央博物館

内容／①令和6年度新規加盟館について

②令和5年度事業報告・一般会計収支決算報告・基金収支決算報告について

③令和6年度事業計画（案）・一般会計収支予算（案）・基金収支予算（案）について

④第71回全国博物館大会報告について

調査研究委員会

なし

地域振興委員会

■博物館資料救済活動

千葉県内で生じた以下の自然災害において、資料救済ネットワークを通して博物館資料に関する被害情報を集約した。

台風7号：令和6年8月16日（金）

台風被害なし

なお、救済要請はなかった。

研修委員会

■第1回委員会

令和6年7月18日（木）9時30分～10時40分

会場／千葉県立美術館

内容／令和6年度事業計画について

広報委員会

■第1回委員会

令和6年8月6日（火）15時～17時

会場／船橋市郷土資料館

内容／令和6年度活動計画について

■第2回委員会

令和6年9月6日（金）10時～12時

会場／千葉県立中央博物館

内容／会報『ちばの博物館』第151号の編集について

編集後記

『ちばの博物館』151号をお届けします。

博物館の展示やイベントの情報を入手できる媒体はいろいろありますが、県博協加盟館園の半年の予定や魅力的な実践を知れる本誌が、「ちょっとしたお出かけ」の行先を考える上で意外と役立つことに、広報委員になってから気がきました。

仕事や家事で疲れていて遠出する気になれない時に、あるいは、家族（特に乳幼児と一緒に）や友人と行く場所を探している時に、ぜひ、加盟館園を候補に入れてください。

（小田）

令和6年度千葉県博物館協会広報委員会

理事 小笠原 勝海（市立市川考古博物館）

理事 金子 俊（船橋市郷土資料館）

委員 長原 亘（千葉市立加曽利貝塚博物館）

委員 小田 真裕（船橋市郷土資料館）

委員 樽 宗一郎（千葉県立中央博物館）

委員 芝崎 浩平（市原歴史博物館）

委員 尾崎 晃（千葉県立関宿城博物館）